

令和3年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修（基礎編）報告

開催日時 令和3年9月18日（土） 14:00～16:00

開催形態 オンライン（ZOOM）

参加者数 47名（会員40名、非会員7名）

運営担当 高見（兵庫県立大学）、山崎（畿央大学）

テーマ COVID-19感染拡大下に左右されない地域ケア
～高齢者の暮らしに寄り添うケアの普遍性について～

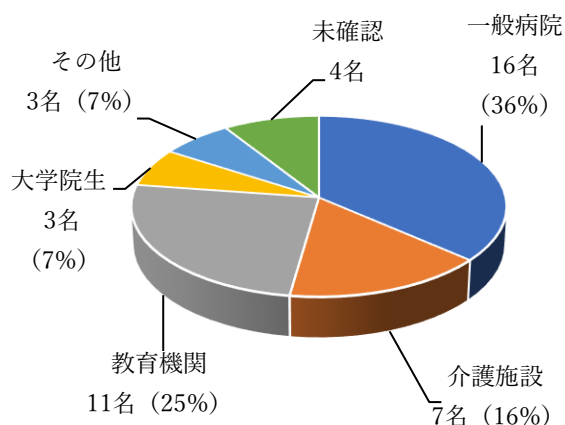
講師

1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療病棟における高齢患者へのケア
大久保和美氏（市立豊中病院 老人看護専門看護師/認知症看護認定看護師）
2. 人が穏やかに歳を重ね、自分らしく生きることを支えるケア
加藤忠助氏（株式会社 あおいけあ 代表取締役）

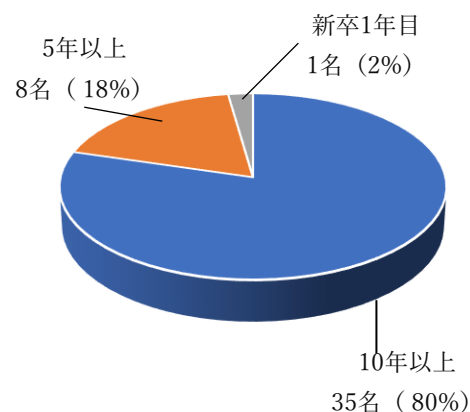
【アンケート結果・感想（回収数44、有効回答数44、回収率93%）】

1. 参加者の概要および研修設定に対する意見

1) 現在の勤務先



2) 看護師（教員）経験年数



3) 今回の研修を知ったきっかけ（複数回答）

他者からの紹介（24名）、老年看護学会ホームページ（20名）、メールマガジン（1名）、学会関係者の紹介（1名）

4) 開催時期 良い（43名）、悪い（1名）

〈理由〉もう少し早い時期に開催してほしかった

5) 開催時間 良い（27名）、悪い（2名）、無回答（1名）

〈理由〉共有の時間が短かった、講義の時間が短かった

6) 受講動機（複数回答） テーマに関心があった（38名）、知人・上司のすすめ（16名）

7) 会費について ちょうど良い（39名）、高すぎる（3名）、安すぎる（1名）、無回答（1名）

2. 研修会の内容について

1) 本日のテーマについて

非常に興味がある 37名 (84%)、興味がある 7名 (16%)

【意見】(13件)

- ・日本でのコロナ医療の様子、その中での看護の工夫を知ることができ、よかったです。
- ・コロナであっても、地域や病院であっても、高齢者ケア・認知症ケアの普遍性を改めて確認できました。
- ・COVID-19の感染状態で安心のケアよりも安全のケアが優位になっている。そのことに対して今回の研修はとても参考になった。
- ・コロナ禍で感染対策が重要視されるあまり、面会が制限されることや最期の時まで家族と対面できない状況のなかで、感染者の尊厳をどのように守ってケアをされているのかについて興味がありました。
- ・現在、さまざまな問題が浮き上がってきている時期で、現場でも解決の糸口が欲しかったので、社会情勢や看護の現場に合致していた。
- ・とても良いテーマと、素晴らしい講師陣と内容でした。ありがとうございました。
- ・コロナ禍にある地域でのつながりについて考える機会になった。
- ・現在悩んでいることそのものがテーマでした。等

2) 期待通りであったか

期待以上 1名 (2%)、期待通り 42名 (96%)、期待通りではない 1名 (2%)

【意見】(17件)

- ・普段通りのケアを提供できている現状を聞くことができよかったです(複数意見)。
- ・2人の講師の話聞き、まだまだやれることはあり、高齢者の笑顔を絶やしてはいけないのだと、改めて痛感しました。病院での看護の改革に取り組みたい。
- ・高齢者の強みをどう自分の現場で見ていくか考えたい。新たな活力になりました。
- ・加藤先生のお話では、認知症であってもなくても、子供でも高齢者でも当たり前前に自然に自分らしく生きる、支える、共生するということが何かを改めて教えていただきました。感動しました。
- ・もてる力をいかした地域共生が今後、社会で必要になっていくことが理解できた。介護の在り方について変化していくことを理解し、その流れにあった働きかけが必要であることが理解できた。
- ・認知症ケアの地域での様子を知ることができてよかった。
- ・具体的な対策などの意見や講義を聞く機会となり参考になりました。
- ・お二人の話(現場の話)も良かったし、少しの時間でも、グループディスカッションで、様々な職種とディスカッションできて良かった。等

3) 老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に重要 40名 (91%)、まあ重要 3名 (7%)、無回答 1名

【意見】(11件)

- ・実践報告を沢山知りたいと思います。
- ・立ち止まって、振り返り、学ぶ機会があることは大切だと思う。
- ・高齢者の割合が増えていく中で、とても重要だと思います。
- ・高齢者を看護する中で、共に楽しみを感じられるようなケアを提供できるような学習支援をしていきたいと考えている。今後も学会の研修を楽しみにしています。
- ・社会変化が著しく、それにあつた看護や支援が必要であり、またその情報をキャッチし、学びを継続する為にも必要であると考えます。
- ・介護施設にいと研修会の情報などが少ないので、ホームページで情報を得ています。等

4) 今後このような研修に参加したいか

ぜひ参加したい 28名 (64%)、機会があれば参加したい 16名 (36%)

【意見】(10件)

- ・ ZOOMでの開催は参加がしやすい(意見複数)。
- ・ リアルタイムに参加できないときは講義だけでも、録画を聴講できないでしょうか？
- ・ もう少し多くの学会員にご参加いただきたい、素晴らしい内容だったと思っています。
- ・ せっかくなので、もう少し長くディスカッションがしたいです。
- ・ ZOOMや、グループワークへのハードルが高かったが、それ以上に収穫があった。
- ・ 子育て中で土日の参加が難しく、時間に制限があるため平日開催があると嬉しい。 等

5) 今後研修で取り上げてほしいテーマ

- ・ 高齢者看護における看護の倫理的感受性を高める方策について
- ・ 施設や地域でのケアに関する内容
- ・ 地域包括ケア、介護保険の在り方について
- ・ 認知症看護に関する看護学生への有効な教育方法

6) その他(自由記載)

- ・ コロナ禍であるからこそ、あらためて個々の人に焦点を当ててケアを構築することの重要性、その人に沿ったケアの環境を創造していくための思考の柔軟性と実行力を身に着けることの必要性について、学びを得ることができました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・ 自分の実践を振り返る良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・ 現地での開催よりもオンラインの方が時間も作りやすく参加しやすい。コロナが落ち着いてもこのような環境も併用していただけるとありがたいです。
- ・ 意見交換の時間が短いので、時間の長さや必要の有無について検討して頂きたいです。
- ・ グループワークで、ZOOMに慣れていたり、司会など先導する人がいないと話の出だしが難しかった。
- ・ 地方で勤務している為、オンライン研修は参加しやすく、学習の機会を与えてもらえることが有難いと思っています。
- ・ 高すぎるとまでは感じないが、オンラインのため会場費は不要だし、資料の印刷や郵送も無い分もう少し抑えられたのでは無いかと疑問は感じた。
- ・ 子育て中のため、土日は自由に外出ができないのですが、ZOOM開催してくださり、参加することができ、大変有意義でした。